

霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルを2へ引き上げ

本日（27日）17時20分に霧島山（新燃岳）の噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。新燃岳火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

霧島山（新燃岳）では、火口直下を震源とする火山性地震が増加しており、また、GNSS連続観測で霧島山を挟む一部の基線において、わずかな伸びが認められます。

火山活動が高まった状態となっており、新燃岳火口から概ね2kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから、本日（27日）17時20分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に引き上げました。

弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね2kmまで、火砕流が概ね1kmまで達する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね2kmの範囲では警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等にも留意してください。

気象庁地震火山部 火山監視課 中村
電話 03-3434-9119